



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 ペガサスマシン製造株式会社

コード番号 6262 URL <http://www.pegasus.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 美馬 成望

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 吉田 泰三

TEL 06-6451-1351

四半期報告書提出予定日 平成28年2月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	14,596	19.2	1,833	36.2	2,069	10.1	1,965	△8.7
27年3月期第3四半期	12,243	21.0	1,346	57.8	1,879	64.9	2,153	133.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,600百万円 (△38.8%) 27年3月期第3四半期 2,616百万円 (2.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	79.20	—
27年3月期第3四半期	96.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	29,434	21,021	69.1
27年3月期	29,524	19,848	64.7

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 20,327百万円 27年3月期 19,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.00	—	8.00	12.00
28年3月期	—	7.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

27年3月期期末配当金の内訳 普通配当6円00銭 記念配当2円00銭

28年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当7円00銭 記念配当3円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,170	18.3	2,360	37.0	2,550	16.5	2,290	△1.6	92.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	24,828,600 株	27年3月期	24,828,600 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	17,944 株	27年3月期	17,944 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	24,810,656 株	27年3月期3Q	22,426,950 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調が続きましたが、国際情勢不安など先行き不透明感が残されております。世界経済につきましては、米国経済は雇用情勢や個人消費の改善など内需が底堅く回復基調が続き、欧州経済も金融緩和やユーロ安を追い風に緩やかな回復基調が続きました。中国をはじめ新興国経済は景気の減速懸念が増し先行き不透明な状況が続きました。

工業用ミシンにつきましては、繊維産業の集積地であった中国からその他のアジアや消費地に近い国々へ縫製拠点を移転させる動きが依然として継続しており、アジア市場や中米を含む米国市場での需要が引き続き堅調に推移いたしました。自動車部品を中心とするダイカスト部品につきましては、一部ばらつきが見られるものの総じて需要が底堅く推移いたしました。

このような環境のもとで、当第3四半期連結累計期間の売上高は145億96百万円（前年同四半期比19.2%増）となり、営業利益は18億33百万円（前年同四半期比36.2%増）、経常利益は20億69百万円（前年同四半期比10.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億65百万円（前年同四半期比8.7%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(工業用ミシン)

工業用ミシンにつきましては、縫製産地の流動化に応じた販売戦略に努めたほか、高級機需要など市場ニーズへの対応を行った結果、売上高125億53百万円（前年同四半期比21.3%増）、営業利益23億81百万円（前年同四半期比33.7%増）となりました。

(ダイカスト部品)

ダイカスト部品につきましては、高品質を維持しつつ、一昨年開業したベトナム拠点での生産を拡大した結果、売上高20億42百万円（前年同四半期比9.1%増）となりましたが、現状操業度が低く、営業利益2億24百万円（前年同四半期比34.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて84百万円減少し、214億49百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が2億31百万円、仕掛品が1億65百万円、その他流動資産が95百万円それぞれ増加し、現金及び預金が4億2百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5百万円減少し、79億84百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて89百万円減少し、294億34百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2億80百万円減少し、53億19百万円となりました。これは、短期借入金2億83百万円、その他流動負債が2億30百万円それぞれ減少し、支払手形及び買掛金が1億85百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ9億81百万円減少し、30億93百万円となりました。これは、長期借入金4億7百万円、その他固定負債が3億63百万円、社債が2億22百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて12億62百万円減少し、84億13百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて11億72百万円増加し、210億21百万円となりました。これは、利益剰余金が15億92百万円増加し、為替換算調整勘定が3億80百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を考慮し、通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成28年1月28日）公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当社の連結子会社であった天津ペガサス エス イー有限公司(中国天津市)は平成27年8月26日に清算終了しております。

この結果、平成27年12月31日現在の連結子会社は、8社で構成されております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,576,313	7,174,259
受取手形及び売掛金	4,864,254	5,096,186
有価証券	121,111	—
商品及び製品	4,253,537	4,161,088
仕掛品	675,977	841,432
原材料及び貯蔵品	3,322,056	3,351,683
その他	873,665	968,869
貸倒引当金	△152,359	△143,687
流動資産合計	21,534,557	21,449,831
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,901,712	2,757,974
その他(純額)	3,530,248	3,543,888
有形固定資産合計	6,431,960	6,301,863
無形固定資産		
746,585	746,585	714,011
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	40,003	67,659
その他	771,429	901,395
投資その他の資産合計	811,432	969,055
固定資産合計	7,989,978	7,984,929
資産合計	29,524,536	29,434,760
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,382,946	1,568,702
短期借入金	1,543,848	1,260,617
未払法人税等	608,858	654,144
賞与引当金	144,209	146,335
その他	1,920,777	1,689,896
流動負債合計	5,600,641	5,319,695
固定負債		
社債	1,351,890	1,129,240
長期借入金	1,329,184	921,959
退職給付に係る負債	512,716	524,578
その他	881,262	518,185
固定負債合計	4,075,052	3,093,962
負債合計	9,675,693	8,413,658

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255,553	2,255,553
資本剰余金	2,983,084	2,983,084
利益剰余金	10,342,844	11,935,707
自己株式	△5,350	△5,350
株主資本合計	15,576,131	17,168,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105,878	73,693
為替換算調整勘定	3,437,206	3,057,190
退職給付に係る調整累計額	△6,670	27,236
その他の包括利益累計額合計	3,536,414	3,158,120
非支配株主持分	736,295	693,986
純資産合計	19,848,842	21,021,101
負債純資産合計	29,524,536	29,434,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	12,243,354	14,596,490
売上原価	7,676,893	9,403,741
売上総利益	4,566,460	5,192,748
販売費及び一般管理費	3,219,573	3,358,937
営業利益	1,346,886	1,833,811
営業外収益		
受取利息	71,231	72,371
受取配当金	6,140	9,662
為替差益	514,581	210,406
不動産賃貸料	60,969	11,801
その他	23,530	21,174
営業外収益合計	676,453	325,415
営業外費用		
支払利息	74,691	59,106
不動産賃貸費用	45,443	6,590
社債発行費	18,535	—
その他	4,907	23,974
営業外費用合計	143,578	89,671
経常利益	1,879,762	2,069,556
特別利益		
固定資産売却益	498,462	371
保険戻戻金	—	40,484
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	—	19,241
特別利益合計	498,462	60,096
特別損失		
固定資産売却損	—	76
退職給付費用	—	18,298
お別れの会関連費用	—	18,857
特別損失合計	—	37,232
税金等調整前四半期純利益	2,378,224	2,092,420
法人税、住民税及び事業税	417,412	456,099
法人税等調整額	△228,253	△357,564
法人税等合計	189,158	98,534
四半期純利益	2,189,066	1,993,885
非支配株主に帰属する四半期純利益	35,626	28,862
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,153,439	1,965,023

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	2,189,066	1,993,885
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	471	△32,184
為替換算調整勘定	362,598	△395,042
退職給付に係る調整額	64,301	33,906
その他の包括利益合計	427,371	△393,321
四半期包括利益	2,616,437	1,600,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,563,479	1,586,728
非支配株主に係る四半期包括利益	52,958	13,835

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

該当事項はありません。